

一般財団法人 地域創造基金みやぎ
2012年 事業報告書
2012年1月1日～2012年12月31日

以下のとおり事業を実施したので、ここに報告します。

1. 助成事業（拠出）

(1) ジャパン・ソサエティ東日本大震災復興基金（協働先：英国ジャパン・ソサエティ）

1) 第一期助成事業の終了

第一期として助成を決定した8事業の助成期間が終了しました。（12月1日～6月30日）各事業について実施団体から事業終了報告書と会計報告を受領し、英国ジャパン・ソサエティに報告しました。

2) 第二期助成事業の公募と決定、一部終了

第二期として、2月1日から2月29日まで助成事業を公募し、訪問調査及び審査会を経て、4月に計11事業総額1,500万円の助成を決定しました。2012年12月までに、11事業のうち10事業の助成期間が終了し、報告書を受領しました。

3) 第三期助成事業企画提案、公募と決定

助成原資が当初予定よりも増加したため、第三期以降の助成事業について企画・提案を行いました。その結果、第三期として、8月1日から9月14日まで助成事業を公募。訪問調査及び審査会を経て、12月に計10事業総額2,500万円の助成を決定しました。

4) 視察受入

英国ジャパン・ソサエティ会長のローズファンド助成事業視察を受入れました。（10月23日～25日 / 仙台市・石巻市・南三陸町・気仙沼市・郡山市）

(2) こども はぐくみファンド（協働先：公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

1) 第一期単年度支援事業の公募と決定

第一期単年度支援事業として、2月1日から2月29日まで支援事業を公募し、訪問調査及び審査会を経て、4月に計18事業総額2,494万円の助成を決定しました。

2) 第二期単年度支援事業の公募と決定

第二期単年度支援事業として、9月1日から9月28日まで支援事業を公募し、訪問調査及び審査会を経て、12月に計10事業総額1,362万円の助成を決定しました。

3) 第二期継続支援事業の案件形成と決定

第二期継続支援事業として、非公募（計画助成）にて6月に計5事業総額1,867万円の助成を決定しました。

4) 第三期継続支援事業

第三期継続支援事業として、非公募（計画助成）にて12月に計6事業総額2,615万円の助成を決定しました。6事業の内2事業については2011年第一期継続支援事業にて決定した2事業の2年目の助成が決定しています。

5) 第三期短期支援事業の公募と決定、一部終了

第三期短期支援事業として、7月10日から8月10日まで支援事業を公募し、審査会を経て9月に計7事業総額210万円の助成を決定しました。2012年12月までに6事業の助成期間が終了し、報告書を受領しました。

6) 「子どもの参加・推進フォーラム ～子どもたちが復興において果たせる役割～」の開催

震災直後に子どもが果たした役割や、これまでの地域における子どもの参加の事例などを振り返りながら、子どもと地域とのかかわりあいを考えました。

- 開催は被災3県にてそれぞれ、8月27日福島県郡山男女共同参画センター、8月28日仙台国際センター、8月29日岩手県民情報交流センター（アイーナ）にて開催しました。
- フォーラムは事例報告、フロアダイアログ（ワールドカフェ）、こどもはぐくみファンド・フクシマススムファンドの助成金事業の説明にて構成され、3日間でのべ60人が参加しました。

7) 助成先団体の学び合いフォーラムの実施

こどもはぐくみファンドにて支援が決定した団体を対象として、団体の活動内容や助成事業の共有に留まらず、子どもを取り巻く地域の復興と復興にとどまらないまちづくりに必要な取り組みを団体相互で確認する事を目的に学び合いフォーラムが開催されました。

- 仙台国際センターにて10月28日、29日に開催し、対象33団体の内計27団体のべ70名以上が参加しました。

8) 震災後に中高生が果たした役割の記録プロジェクト

震災直後より被災者の方が避難所で過ごした期間、各所で子どもが果たした役割を記録・公募する事を目的として、エピソードを募集しました。

- 第一期：10月11日～11月30日、第二期：12月1日～1月7日
- 東北6県の沿岸部、及び内陸部を対象として、当時中学・高校生として何らかの働きを行った方の他、中高生に助けられた方、働きを実際に見かけた方、東北6県でその期間活動をしていた東北地域外在住の中学・高校生からエピソードを募集しました。
- ウェブサイトからの投稿の他、投稿用紙にて計205件の投稿を受け付けました。

(3) フクシマススムファンド（協働先：サントリーホールディングス株式会社 / 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン）

1) 第一期助成事業企画提案、公募と決定

第一期として、8月1日から9月15日まで助成事業を公募。福島県内外から、88件、総額335,156,000円の申請がありました。訪問調査及び審査会を経て、12月に計15事業、総額5,000万円の助成を決定しました。

(4) 三菱重工・みやぎミニファンド（協働先：三菱重工業株式会社）

仮設住宅等にお住まいの方々同士、あるいは地域住民の方のつながりづくりなどの「暮らしとつながり」に焦点をあてた活動、並びに起業をしようとする方を対象に、地域の活性化やまちづくりのための活動を支援する助成事業を実施しました。

1) 南三陸町、気仙沼市の市民活動団体の他、住民グループ等を対象に5万円、10万円規模の助成事業を事前調整型として募集。

2) 8月に気仙沼市での事前説明会を開催し、審査会を経て9月に計9事業総額80万円への支援を決定しました。12月までに8事業の助成期間が終了し、報告書を受領しました。

(5) 志津川タコ復興プロジェクト

「西の明石、東の志津川」と言われる程タコの有名な、南三陸町志津川漁港のタコカゴ漁支援を目的として、タコ漁で使用されるエサ代への寄付を募りました。

1) 7月1日から9月16日までの2か月半寄付を募集し、計134の個人・団体から総額約235万円の寄付を頂戴しました。

2) 南三陸を取り巻く現状を広く知らせる事を目的として、「タコにまつわる8つのストーリー」として漁師のみなさんを始め、商店街の店主や観光協会、タコの研究者の方にお話を伺い、ウェブサイトに掲載しました。

3) 一口10,000円で寄付を募り、寄付者へは寄付のお礼として南三陸復興タコの会にて制作されている「オクトパス君（志津川タコ復興プロジェクトオリジナル旗・缶バッジ付き）」を送付しました。

4) お預かりした寄付金は、管理費を差し引き、宮城県漁協志津川支所へ202万円を届けました。

(6) 東北のお正月を応援プロジェクト

年越し及び正月の季節行事に関連付けて仮設住宅団地自治会や住民コミュニティが活用できる少額助成金として企画し、助成金の原資は個人から一口5,000円で寄付を募りました。

1) 寄付集め

7月1日から11月30日までの5か月間寄付を募集し、計69の個人・団体から総額約

108万円の寄付を頂戴しました。

2) 助成事業の公募、決定

11月1日から22日まで助成事業を公募、審査会を経て、計8事業に総額97万円を助成しました。(宮城県6事業/福島県2事業)

(7) 事業指定寄付プログラム「あづめっちゃ」

宮城県内 NPO の資金調達のサポートと市民活動への寄付促進を目的に、財団と団体とともに寄付を集める事業指定寄付プログラムを開始しました。

1) 事業指定先となる団体の公募と審査

11月26日から12月21日まで事業指定先団体を公募し、審査会を経て12月に事業指定先5団体を決定しました。

ダンス幼稚園実行委員会/一般社団法人キッズ・メディア・ステーション/(特活) Switch/(特活)笑顔のお手伝い/(特活)巨理いちごっこ

2) 研修

宮城県内 NPO への資金調達サポートの一環として、事業指定先公募説明会において「寄付の集まる文章の書き方」講座を実施しました。(仙台開催:参加者19団体21名/気仙沼開催:10団体14名)

(8) 団体紹介・寄付先仲介

- 1) 赤毛のアン基金
- 2) 大友克洋展
- 3) think the earth 忘れない基金

2. 助成事業

(1) 東日本大震災 NGO 支援国際基金(公益財団法人 日本国際交流センター(JCIE))

- 1) 2012年から3ヵ年助成の1年目として366万円の助成を受けました。
- 2) 市民コミュニティー財団としての重要な機能である「パブリック・コミュニケーション」を図る上での基礎の構築ができました。
- 3) 同基金からの助成により、以下の取組みを実施しました。
 - a) 広報担当専従職員の雇用・配置1人
 - b) プレスリリースの作成・配信25件/記事化は47件
 - c) 報道関係・中間支援機関等のリスト化:東北6県他合計175件
 - d) ロゴマークの制定、ウェブサイトの基本デザインの策定
 - e) 研修の実施 別記参照
 - f) 資金調達関係での企業等への訪問(15件)
 - g) 資金調達事業に関わる経費負担(タコプロ、お正月プロジェクト) 以下はその成果

- 2,352,500 円：タコプロ・志津川漁協支援事業
- 1,083,000 円：お正月プロジェクト・住民支援団体への助成事業
- 200,000 円：さなぶりの運営支援費へ

h) 事業指定寄付「あづめっちゃ」事業の実施経費

3. ソーシャル・ファイナンス

被災地の日常を支える事業者の支援と、地域内資金循環構造の構築を目指し、融資や出資を行うソーシャル・ファイナンス事業の開始に向けた準備を進めました。

1) 事業スキームの構築

審査基準の策定や内部決裁資料の作成などに取り組みました。

2) 事業関係者との連携協議

有識者を集めた会議を開催するなど、関係者との連携に向けた協議を継続的に行いました。

3) 各種調査

先行事例や公的施策、被災事業者などの現状を知るため、ヒアリング、アンケート、データ収集などの調査を行いました。

4. 他機関との連携等

(1) 3 県の連携復興センターの定期会合への参加（毎月 1 回）

(2) 市民コミュニティー財団との定期研修（4 回程度）

1) 平成 24 年度「東日本大震災復興ソーシャルビジネス創出促進事業費補助金（ソーシャルビジネス・企業連携支援機能強化事業）」

2) 事務局：公益財団法人 京都地域創造基金

3) 各地域で設立、或いは設立準備中の財団法人の事務局担当者等が定期的に集い、情報交換や「市民コミュニティー財団」の在り方等を検討しました。

4) 参加地域：宮城県、福島県、千葉県、愛知県、兵庫県、和歌山県、岡山県、沖縄県

(3) 東日本大震災・復興支援系助成機関会合を主催（2 回）

1) 復興支援に取り組む助成機関の担当者を集まって頂き、情報交換等を行いました。

5. 組織基盤強化

(1) 組織体制

1) 助成事業担当：福田、江川、林

2) 広報担当：志賀

3) ソーシャル・ファイナンス：内山 樽川、名城

4) 経理・総務：中山

5) 資金調達、助成事業、統括：鈴木

(2) 広報

- 1) 支援先レポートを作成:助成先の活動を紹介するため 20 団体へのインタビューを行い、写真を交えたレポートを作成しました。
- 2) メディア掲載:新聞・雑誌・WEB など 47 件の掲載がありました。

(3) ウェブ・FB/TW・助成先紹介

- 1) ウェブサイトのリニューアル
より分かりやすいページを目指してウェブサイトのリニューアルを行いました。支援先レポートや英語のページを追加し、幅広く情報を発信しました。2012 年 12 月 1 カ月間のページビュー数は 6,810。
- 2) フェイスブックページ作成
財団へ興味を持つ方とのコミュニケーションを深めるため、フェイスブックページを作成。「いいね!」の数は 2013 年 3 月 13 日現在で 550。 あづめっちゃんの開始時には当該記事を 1,561 人が閲覧

(4) 研修

- 1) 江川名古屋: コミュニティーユースバンク momo への 1 週間の派遣
- 2) 事務局スタッフ合宿(4月): 1泊2日
- 3) 青木さん企画づくり: 内部のみ
- 4) 赤羽さん文章: あづめっちゃんのイベントとして含み、内部研修

(5) 資金調達

- 1) 三井製糖*、みずほ銀行、日本ポリプラスティクス、三井住友海上火災*、NEC、東北電力、日立製作所、Johnson & Johnson*、霊友会、回向院/善光寺*、宮城県庁、アスクル、日清製粉、スターバックス、三菱商事

(6) 大口資金提供者

- 1) 英国・ジャパン・ソサエティ様
- 2) 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン様
- 3) サントリーホールディングス株式会社様
- 4) 三菱重工業株式会社様

添付資料

1. 助成事業実績